

科目名		授業形態	担当教員名	
システム工学演習		演習	遠藤 宏和・飛来 直道	
時間数（単位数）		授業回数	年次	開講時期
15 時間（1 単位）		8 回	1 年次	後期
授業の目的・概要				
医療分野で利用されるシステム工学を学び、その実践応用を理解する基礎的能力を養う。				
授業の到達目標				
システム工学で学んだ知識を用いて演習を行い、医療安全をシステムで考える方法を修得する。				
授業計画				
回	内容			
1	ヒューマンエラーの考え方と分析方法			
2	①事象の整理			
3	②問題点の抽出、背後要因の探索			
4	③対策案の列挙、対策の決定			
5	④対策の実施と対策の効果と評価			
6	危険予知トレーニング			
7	危険予知トレーニング実践			
8	まとめ			
成績の評価法と基準				
種別	割合	評価基準・その他備考		
定期試験				
レポート	100%	各テーマごとに行い、レポート提出とその内容を評価する。		
小テスト				
平常点				
その他				
自由記載				
教科書				
書名	著者・編集者名		出版社名	
自由記載				
参考文献				
書名	著者・編集者名		出版社名	
自由記載				
備考				